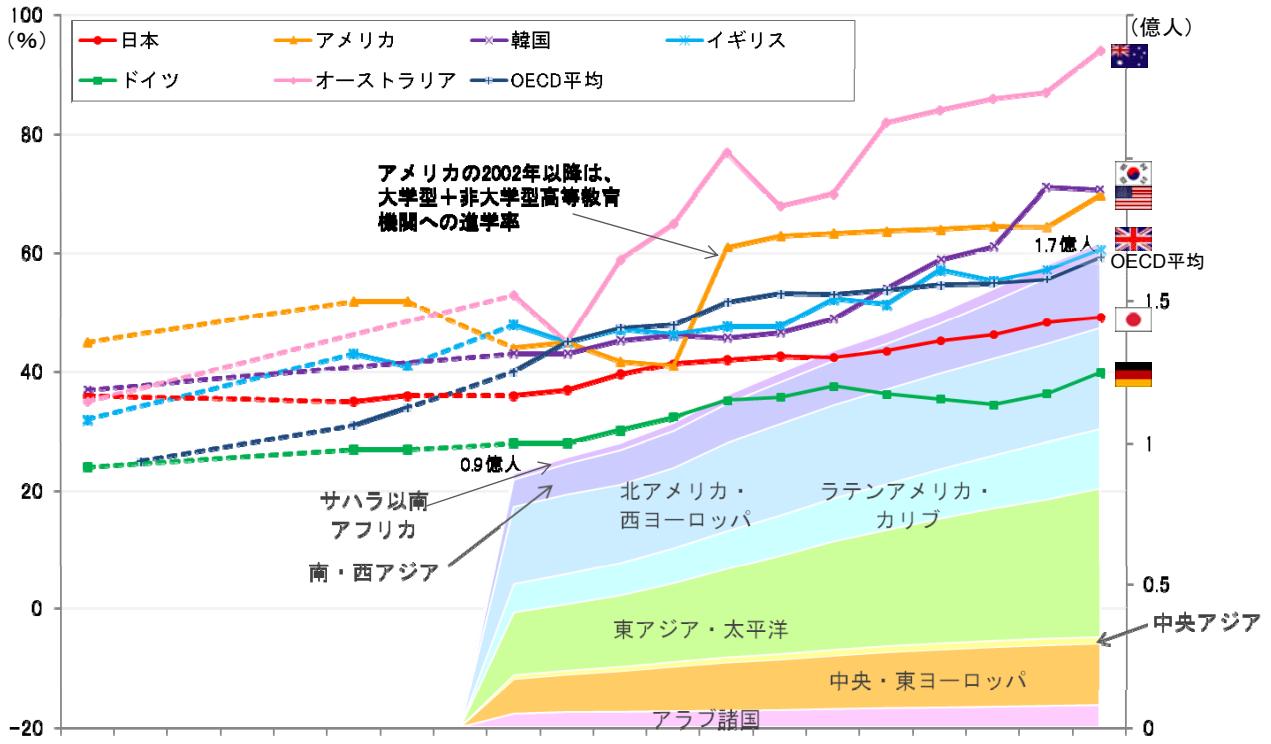


世界の高等教育機関の学生数と大学進学率の増加

- 世界の高等教育機関の学生数はこの10年で2倍近くの増加。
- 先進諸国の多くが、大学進学率を上昇させる中で、日本の伸びは低位。

(折れ線グラフ: 大学進学率)

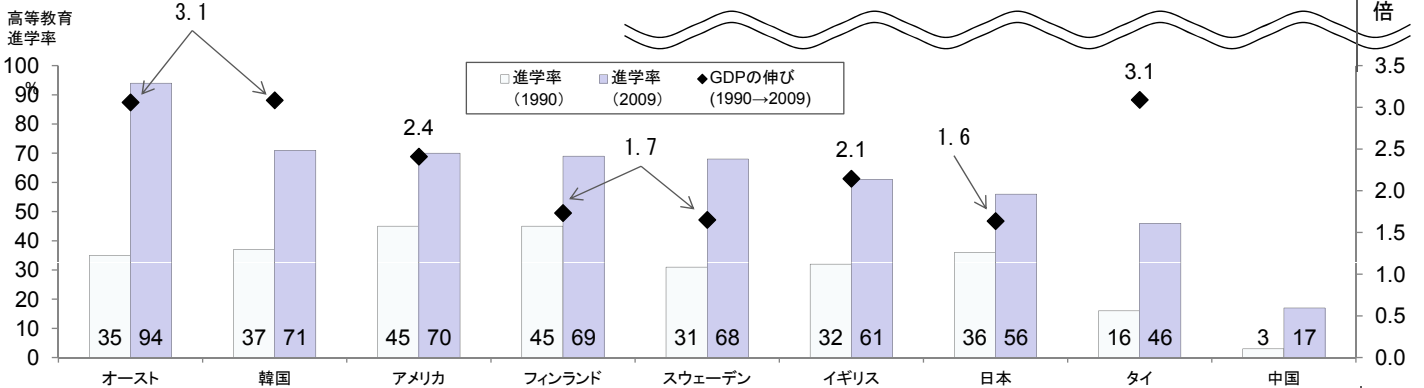
(積み上げグラフ: 高等教育機関学生数)



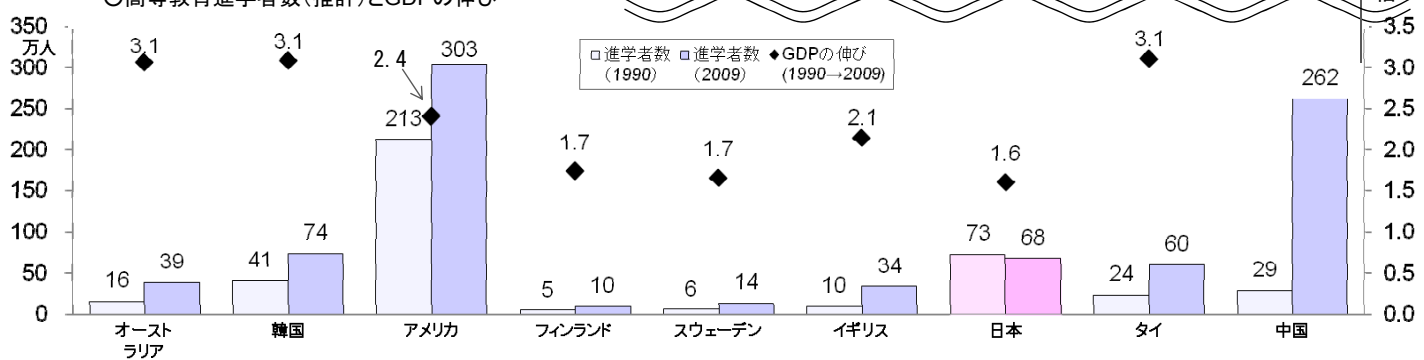
1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009
 学生数はUNESCO「Global Education Digest 2009」、進学率はOECD「Education at a Glance」を基に作成。ただし1990年のデータについては、日本、アメリカ、イギリス、ドイツについては文部科学省調べ。韓国、オーストラリアについては、UNESCO「Global Education Digest」

日本の進学率は国際的にみて低水準・日本だけが大学入学者が減少

○ 高等教育進学率とGDPの伸び



○ 高等教育進学者数(推計)とGDPの伸び



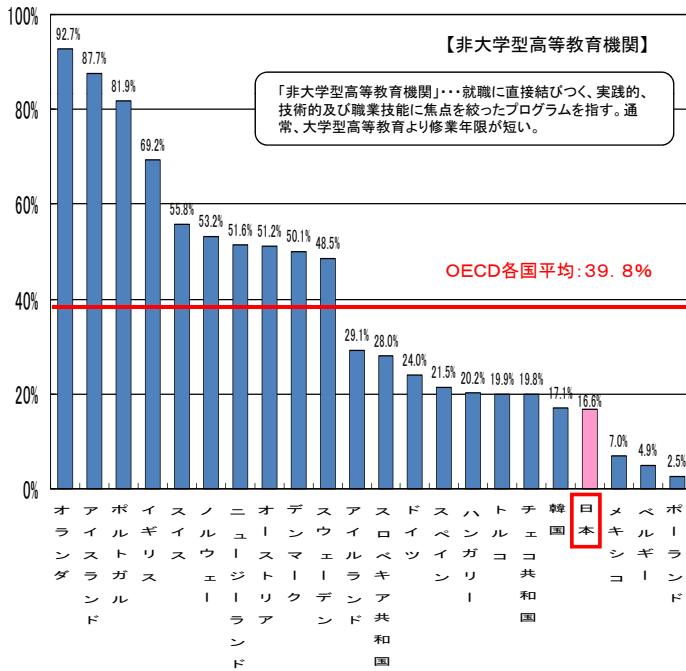
日本のデータは文部科学省調べ(短大含む)。【1990の進学率】UNESCO, "Statistics (Historical data)"を基に作成。ただし、アメリカ、イギリスについては、文部科学省「教育指標の国際比較」【2009の進学率】OECD, "Education at a Glance 2011"ただし、タイについては、UNESCO, "Statistics [学生数]文部科学省「教育指標の国際比較」の在学者数から推計。フィンランド、スウェーデン、タイ、韓国の1990年、オーストラリアの1990年は: UNESCO, "Statistics (Historical data)"の在学者数から推計。オーストラリアの2009年はOECD, "Statistics"による入学者数。

(参考)各国の高等教育機関への進学における25歳以上入学者の割合

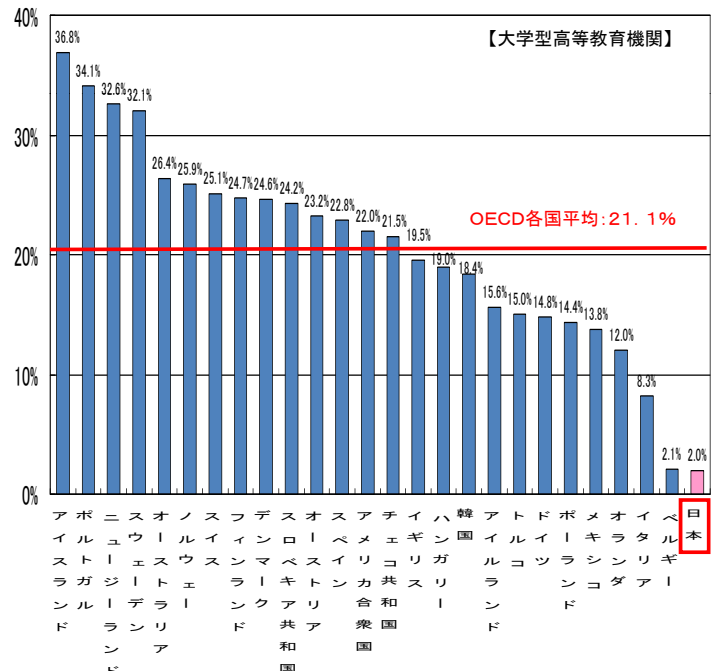
就業を目的とする高等教育機関への入学者のうち25歳以上の割合は、OECD各国平均約4割に達し、社会人学生も相当数含まれる一方、日本人の社会人学生比率は約17%と低い。

大学入学者のうち25歳以上の割合は、OECD各国平均約2割に達し、社会人学生も相当数含まれる一方、日本人の社会人学生比率は2.0%と低い。

25歳以上の入学者の割合の国際比較（2009年）



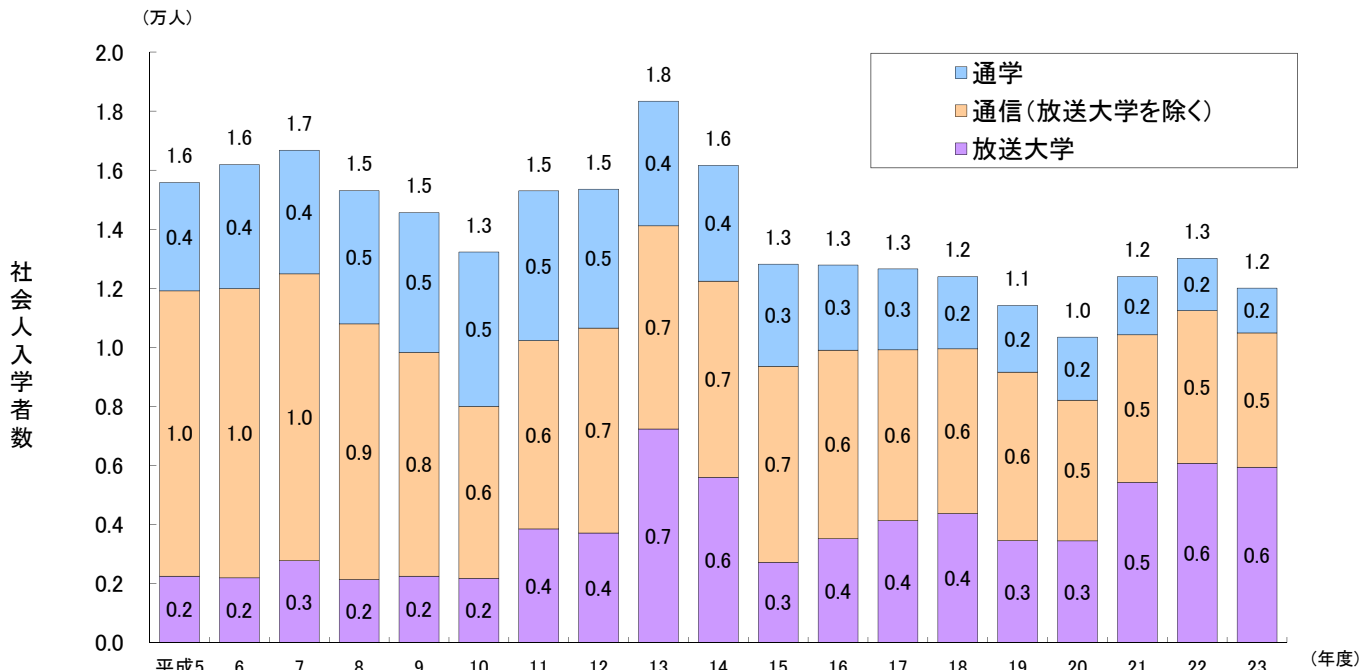
出典: OECD教育データベース(2009年)。ただし、日本の数値については、「学校基本調査」及び文部科学省調べによる社会人入学生数(短期大学及び専修学校(専門課程))



出典: OECD教育データベース(2009年)。ただし、日本の数値については、「学校基本調査」及び文部科学省調べによる社会人入学生数

社会人入学者数(推計)の推移(大学)

大学の学士課程への社会人入学者数(推計)は、平成13年度の約1.8万人をピークに、平成20年度の約1万人まで減少。その後、増加し、平成23年度は約1.2万人。



※ 「社会人」とは、当該年度の5月1日において、給与、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事についている者(企業等を退職した者、及び主婦などを含む)。

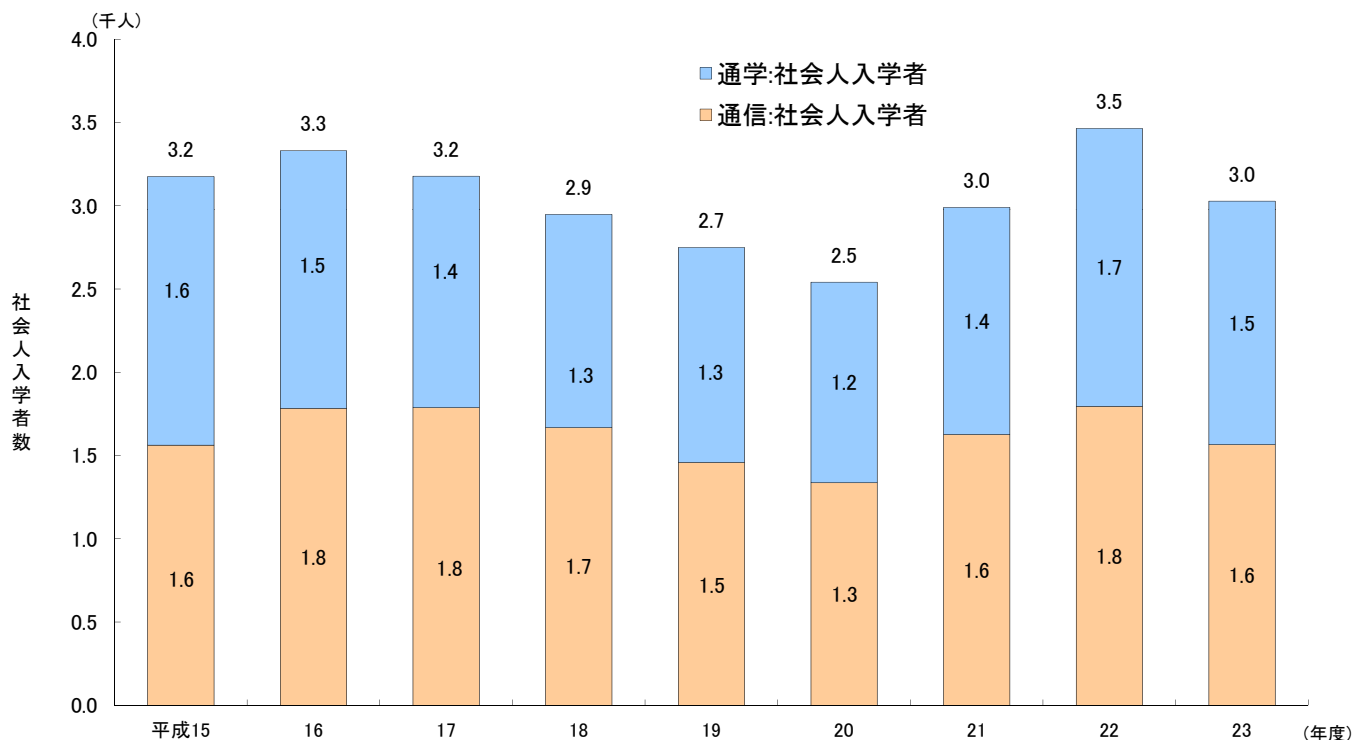
※ 通学の社会人入学者は、「国公私立大学入学者選抜実施状況」の「社会人特別入学者選抜による入学者数」を引用。

※ 通信、放送大学は推計である(「学校基本調査報告書(高等教育機関編)」をもとに、通信制学生のうち職についている学生の割合から按分等)

資料: 文部科学省「学校基本調査」等

社会人入学者数(推計)の推移(短期大学)

短期大学士課程への社会人入学者数は平成16年度の約3.3千人をピークに平成20年度の約2.5千人まで減少。その後、増加し、平成23年度は約3千人。



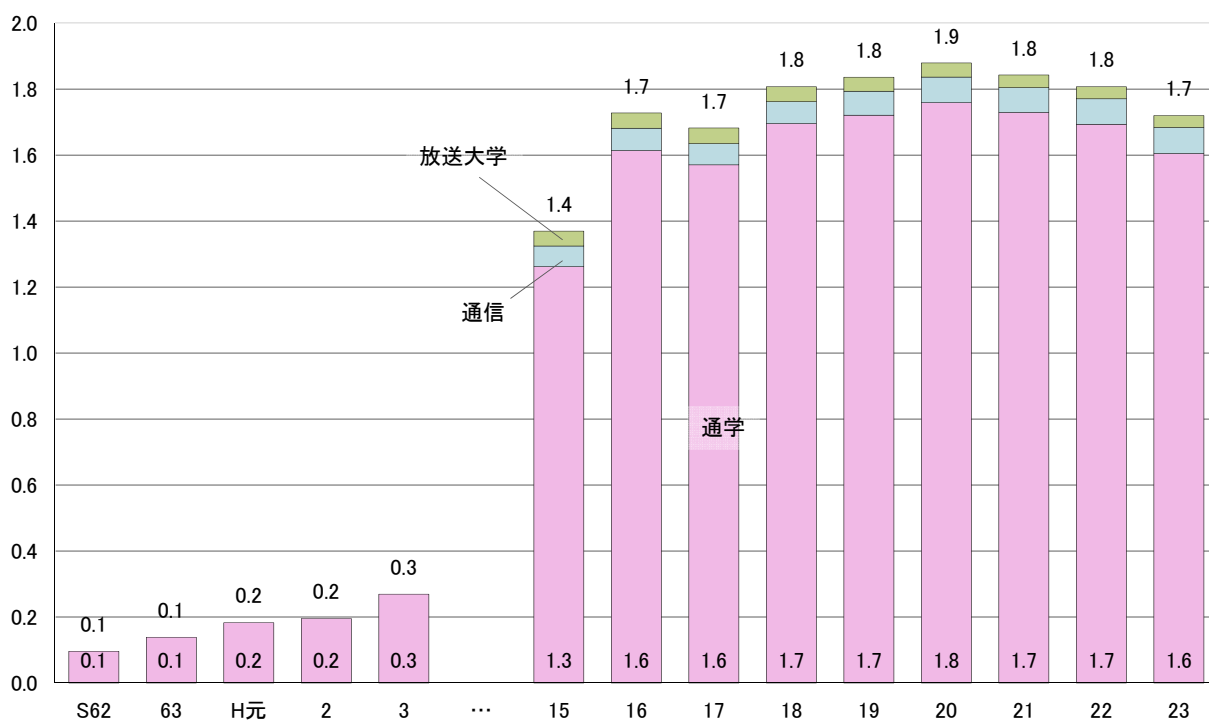
※ 通学の社会人入学者は、「国公立大学入学者選抜実施状況」の「社会人特別入学者選抜による入学者数」を引用。

※ 通信の社会人入学者は推計である(「学校基本調査報告書(高等教育機関編)」をもとに、通信制学生のうち職についている学生の割合から按分)。

資料：文部科学省「学校基本調査」

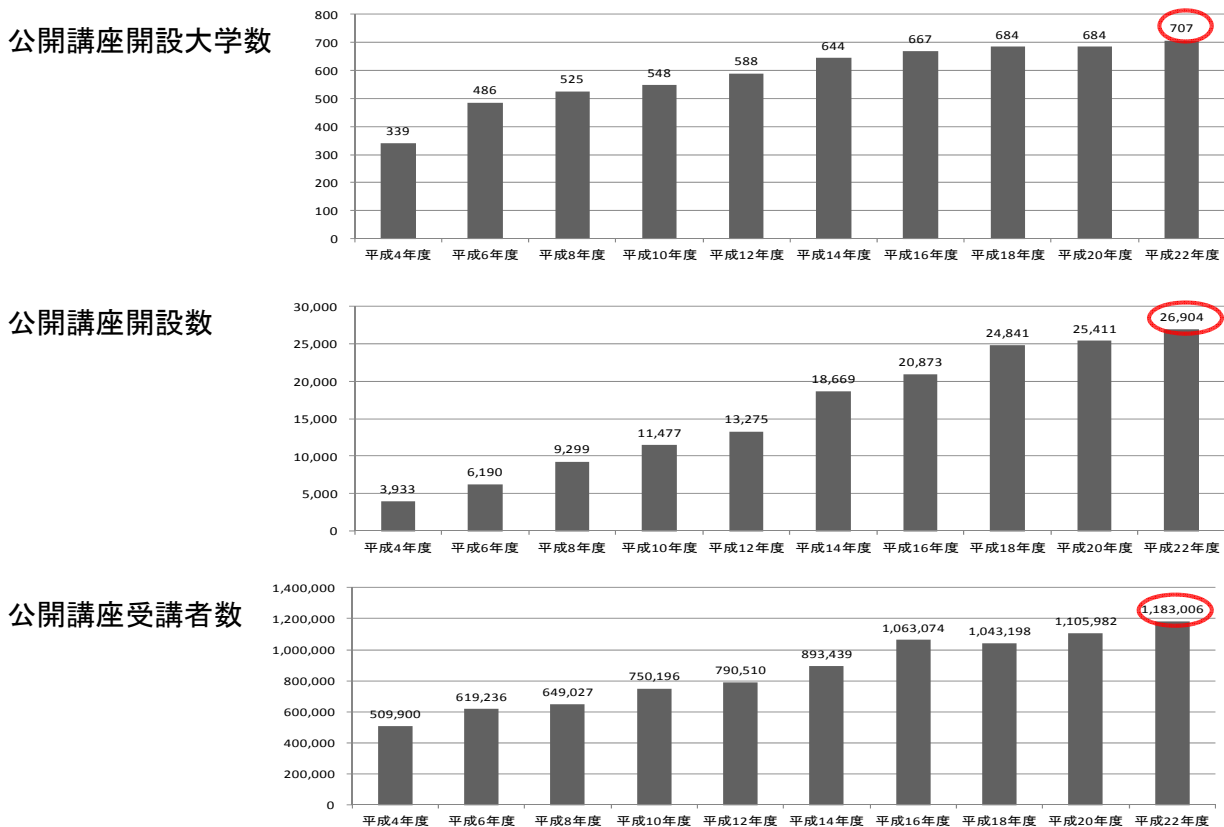
社会人入学者数(推計)の推移(大学院)

博士・修士・専門職学位課程への社会人入学者数(推計)は、平成20年の約1.9万人をピークに微減しており、平成23年度は約1.7万人。



※ 通信及び放送大学の社会人入学者は推計である(「学校基本調査報告書(高等教育機関編)」をもとに、通信制学生のうち職についている学生の割合から按分)。

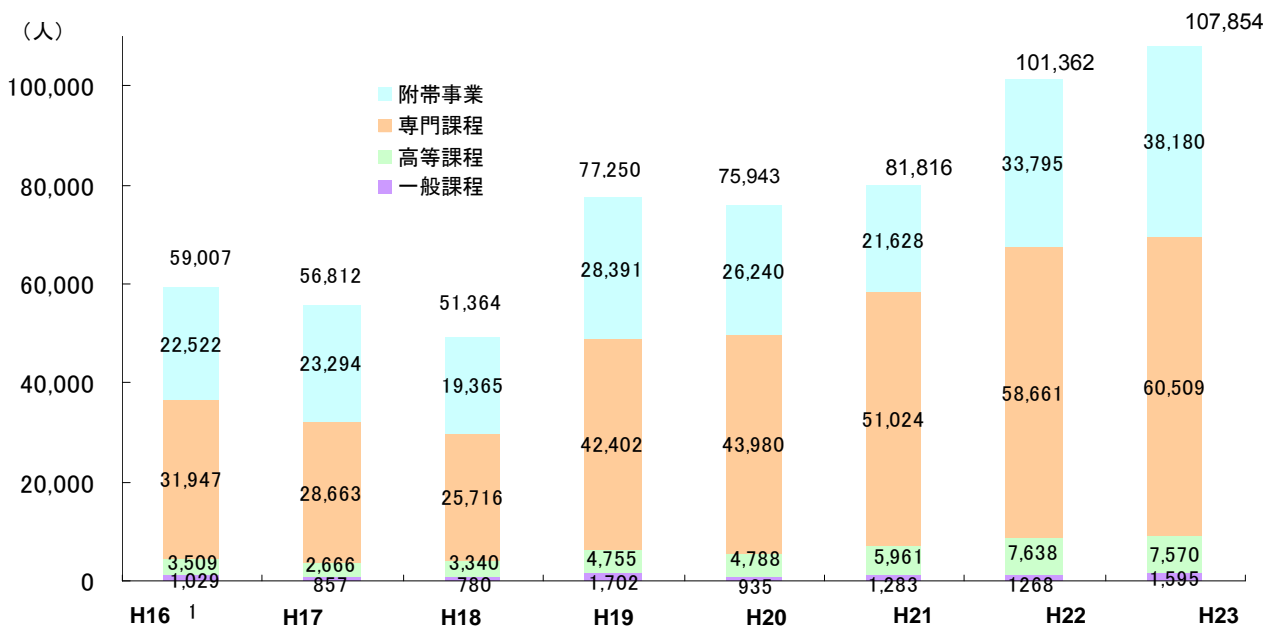
大学（国・公・私立）公開講座実施状況



出典：文部科学省「平成23年度開かれた大学づくりに関する調査」（平成24年3月）

社会人の受入れ状況の推移（専修学校）

社会人の入学者数は、増減があるものの、平成19年以降は増加。特に専門課程の増加が顕著。平成23年の私立専門学校における社会人受入れ数は、約6万1千人。職業訓練等の附帯事業を含めると、総数で約10万8千人を私立専修学校に受け入れている



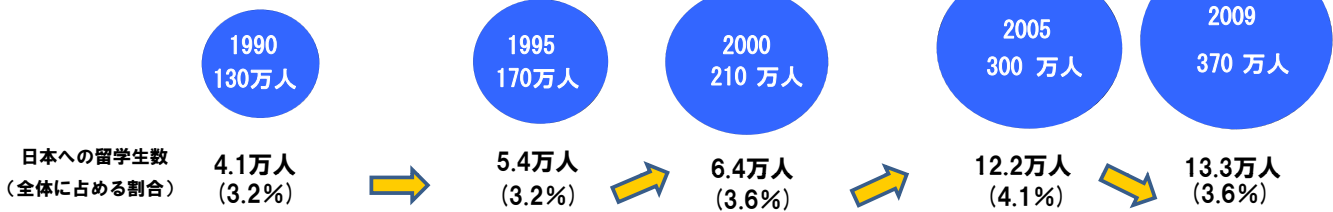
※ 出典：文部科学省 専修学校教育振興室調べ（調査対象：私立の専修学校）

※ 「社会人」とは、当該年度の5月1日現在において、職に就いている者、すなわち給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者、又は企業等を退職した者、又は主婦をいう。

世界の留学生数と各国の海外留学生の推移

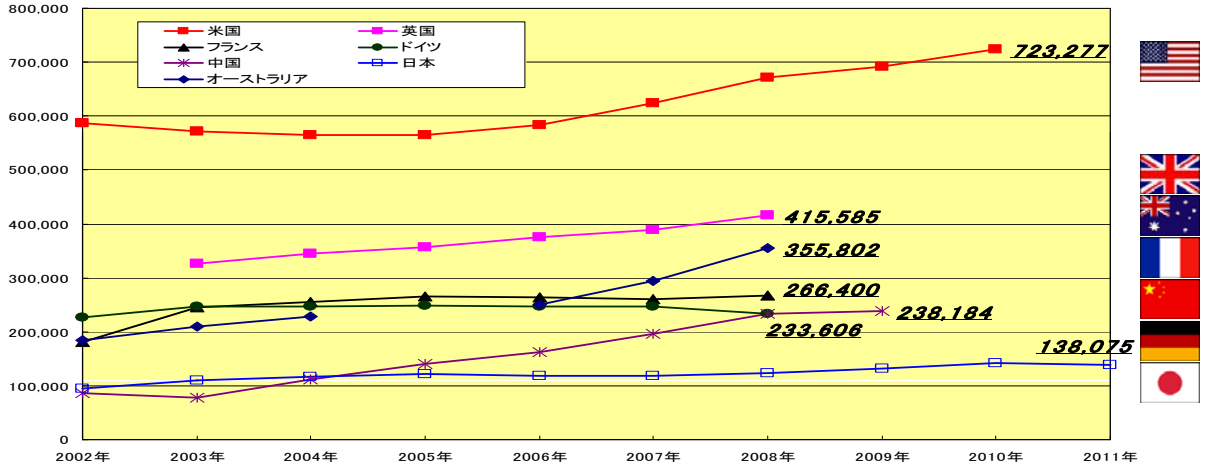
- 20年間で、世界全体の留学生は約3倍に増加し370万人。そのうち、日本への留学生の割合は3.6%にとどまる。
- 日本の留学生の受け入れ数は10年前と比べて増加しているが、主要国と比べると少ない。(米国の約2割、英国の約3割)

【世界の留学生数の拡大】



出典: 中国、韓国、インド OECD「Education at a Glance2011」、アメリカ IIE「OPEN DOORS」
 日本 アメリカへの留学はIIE「OPEN DOORS」、中国への留学は中国教育部、
 その他の国はOECD「Education at a Glance2011」、UNESCO「Institute for Statistics」

国別留学生の受け入れ数の推移

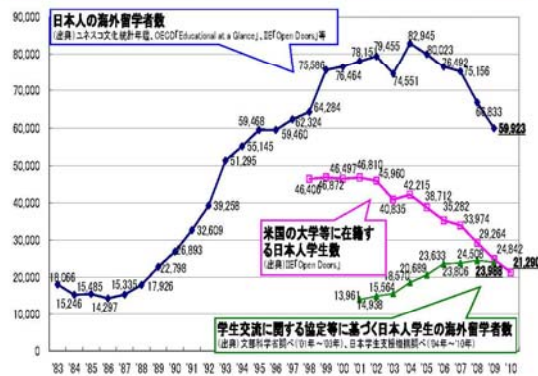


出典: 米国はIIE「OPEN DOORS」、日本は日本学生支援機構「留学生数調査」、その他の国は各国統計データより

第2回グローバル人材育成推進会議(平成24年6月4日)資料3より

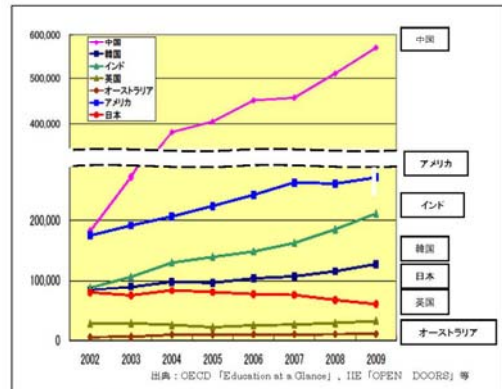
グローバル人材の育成をめぐる近年の状況

日本人の海外留学は2004年をピークに減少。

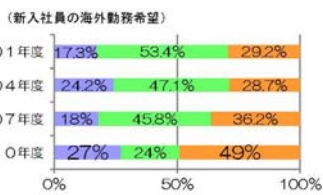


一方、経済成長の著しい中国・インドや韓国等は、海外留学数を増加させている。

国(地域)別 学生の海外派遣者数の推移



新入社員で海外での勤務を希望する者としな者が二極化。



出典)学校法人産業教育大学「第4回 新入社員のグローバル意識調査」
 対象: 全国の2010年度入社の新入社員 400人(男性185人、女性215人)
 注: 2010年度と2007年度は調査対象異なる。

日本の高等教育への民間投資はアメリカの1/7。

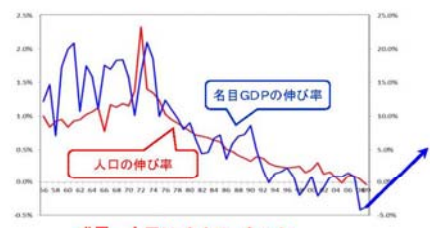
高等教育への投資の対GDP比

	日本	アメリカ
公費負担	0.5%	1.0%
私費負担	1.0%	1.7%
うち家計	0.76%	1.12%
民間	0.24%	0.58%
合計	1.5%	2.7%

※GDP 日本:アメリカ=1:3
 出典)「Education at a Glance」

人口減少と超高齢化が進む中、日本経済の新たな成長には、イノベティブな若者の育成が急務。

日本の経済成長率と人口増加率の推移



成長=人口×イノベーション
 (人口:総務省「人口統計」、名目GDP:平成21年度「1年次経済財政報告書」)